



四日市消防

火災 示

Fire Extinguisher
消火

触らないで
下さい!

触らないで
下さい!

火災・救助・救急は119番 毎日世帯用排水口
ご用心 コンセントに
積もったホコリ
火事の元!
火災予防運動実施中



Fire Exting
消火

触らないで
下さい!





災
の教訓を～
を！





発生から24年
阪神大震災
～生かそうあの日の教訓を～
今こそ地震対策を！
がんばろう日本！





消防 119番
 火災 119番
 救急 119番
 救助 119番



●119番のかけ方を知っておこう

普段なら容易なことも、緊急事態に直面するとあわてて行動できない場合があります。「火災」「救急」「救助」に備えて、「119番」のかけ方をマスターし、火災発生の際には確実に通報できるようにしておきましょう。
 ※10円玉やテレホンカードがなくても119番はかけられます。

電話機の種類によって違う119番のかけ方

一般の加入電話	ピンク・赤プッシュ電話	カード式電話	デジタル電話
受話器を上げてそのまま119番。	受話器を上げて「緊急通報用」表示タンを押してから119番。 ダイヤルは、電話が通じてある箇所にのみ手元の付属してからの119番。	受話器を上げて「緊急通報用」表示タンを押してから119番。	受話器を上げてそのまま119番。

大きな声でハッキリと状況を伝えましょう

119番に電話をかける

消防署の係員が出たら...

- ①「火事」か「救急(急病)」「救助」かを言う。
- ②場所と名前、近くの目標を言う。
 例：こちらは〇〇〇町〇〇〇丁目〇〇番〇〇〇号の〇〇〇〇〇〇です。
 目標は〇〇〇の〇〇〇側です。
 こちらの電話番号は〇〇の〇〇〇〇〇〇です。
- ③状況を説明する(火災、事故、病気など)。
- ④「わかりました」という係員の声を聞いてから電話を切る。



救急車は正しく利用しましょう

- 休日、夜間の救急医療情報案内は、「53-1199番」へ。
- 火災の問い合わせは、消防テレホンサービス「53-9999番」へ。

消防 119番





番 119

も め じ

00:e

番の正しいかけ方を
学習しましょう
A: 火災編
B: 救急編
C: 救助編



●119番のかけ方を知っておこう

普段なら容易なことでも、緊急事態に直面するとあわてて行動できない場合があります。「火災」「救急」「救助」に備えて、「119番」のかけ方をマスターし、火災発生の際には確実に通報できるようにしておきましょう。
※10円玉やテレホンカードがなくても119番はかけられます。

電話の種類によって違う119番のかけ方

一般の加入電話	ピンク・赤プッシュ電話	カード式電話	デジタル電話
受話器を上げてそのまま119番。	受話器を上げて「緊急通報用」赤ボタンを押してから119番。 ダイヤル式は、電話が通じている他の人にかきまわりの機をもらってから119番。	受話器を上げて「緊急通報用」赤ボタンを押してから119番。	受話器を上げてそのまま119番。

大きな声でハッキリと状況を伝えましょう

- 119番に電話をかける
- ▼
消防署の係員が出たら…
- ①「火事」か「救急(急病)」「救助」かを言う。
 - ②場所と名前、近くの目標を言う。
例：こちらは〇〇〇町〇〇〇丁目〇〇〇番〇〇〇号の〇〇〇〇〇〇です。
目標は〇〇〇の〇〇〇側です。
こちらの電話番号は〇〇の〇〇〇〇〇〇です。
 - ③状況を説明する(火災、事故、病気など)。
 - ④「わかりました」という係員の声を聞いてから電話を切る。



救急車は正しく利用しましょう

- 休日、夜間の救急医療情報案内は、「53-1199番」へ。
- 火災の問い合わせは、消防テレホンサービス「53-9999番」へ。

火災

救助





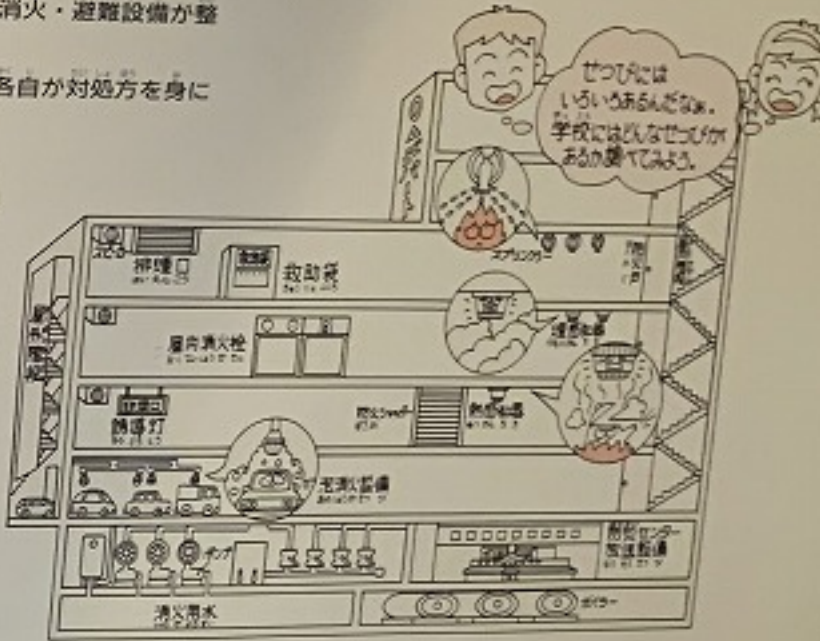
●ビルの防災設備

大勢の人が出入りするビルやデパートでは、いざ災害が発生すると大パニックになりかねません。そのため、このような大きな建物では、火災やガス漏れを感知して警報を発する装置や、消火・避難設備が整えられています。また、緊急時にこそ落ち着いて行動できるよう、各自が対処方を身につけておくことが必要です。

- 天井からの自動シャワー**
天井から自動的にシャワーのように水を出し、消火します。
- 駐車場の自動消火装置**
駐車している車が燃えたとき、自動的に水を出し消火します。
- 防炎シャッター**
窓から地上へ降りし、袋のなかをすべり降ります。
- 煙や熱の発生による感知器**
煙や熱の発生により感知器が自動的にベルを鳴らし、火災を知らせます。
- 避難時のホース**
中に入っているホースを伸ばし、消火作業を行います。
- 避難時のエレベーター**
避難時に出入り口がすぐわかるよう設置されており、停電しても消えません。

消防設備のいろいろ

建物が火事になったとき、早く見つけ、小さい火のうちに消し、安全に避難できるようにそなえられているのが、消防設備です。ビルや地下街へ行ったとき、どのような消防設備があるのを見てください。



●ビルの防災

私たちの生活を支えている電気やガス、上下水道、電話などのライフラインは、住宅の過密化、ビルの高層化によって網の目のように複雑に広がっています。それゆえ、災害で一ヶ所が遮断されると広範囲に渡って支障を来します。とりわけ、ビルなど大勢の人が出入りする場所では、大パニックになりかねません。緊急時にこそ落ち着いて行動できるよう各自で対処方を身につけておきましょう。

ビルにいて火災が発生したら…

- 火元の人を避難させる際、ドアを開け放ったままだと周囲に煙が充満し、他の避難者の助けとなります。必ず閉めましょう。
- 出火場所が階下の場合、煙が吹き上がる屋内階段は避け、火元から遠い避難口へ逃げましょう。
- 階段まで煙が及んでいなければ、窓やドアを開け、高い位置へ逃げましょう。
- 屋外の非常階段の下にも煙が迫っている場合は屋上へ避難し、消防隊の救助を待ちましょう。
- 階下まで煙が充満している場合は、ドアを閉め、ベランダがあればそれを仕切って避難しましょう。
- エレベーターは煙が充満したり、途中で停止する恐れがあります。絶対に使用しないようにしましょう。



消防用防炎外装
試着用防火外套



スタート

●煙の恐さを知っておこう

火災による死亡者数は年々増加の傾向にあります。死因のトップは火の発見の遅れ。気付いたときには炎や煙が視界を奪い、逃げ道を失ってしまったというのがほとんどです。特に、発見が遅れがちなアパートやマンション、ビルなどで

は、ほかの部屋から出火した火災に巻き込まれる可能性は十分あります。

また、火災で最も恐ろしいのは「煙」です。煙の恐さを認識することで、その対処方を学びましょう。

煙の恐怖

煙による被害には「中毒」「窒息」「やけど」などがあり、どんなに体力に自信のある人でも、煙を吸ってしまったらこれらの害から逃れることはできません。火災発生後の空気中には一酸化炭素が1%以上含まれており、この空気を1〜3分以上呼吸すると死亡するといわれています。

- 中毒……アクリル系の衣類やカーテン、ソファなどの石油化学製品に引火することで発生する有毒ガスは、中毒死や意識を失わせる原因となります。
- 窒息……煙に閉じこもって発生する濃いススは、視界を奪うだけでなく、吸い込むと肺に張りつき呼吸困難を引き起こします。
- やけど……煙は高温の液体です。吸い込むと気管、食道、鼻などにやけどを負い、呼吸困難につながります。

煙の性質

●経路……煙は空気よりも軽く、天井に向かって上昇します。天井に近いところを壁をなして流れ、勢いで室内に充満します。出入口から吹き出し、階段やエスカレーターから、さらによへへと広がっていきます。



●高さ……廊下など、煙に流れる煙は人間の歩く速度より若干遅く、階段やエスカレーターなどの縦の空間では、煙の流れの3〜5倍の速さで上昇します。

どうして怖いのか

中毒

有毒ガスの発生▶



やけど

▼煙は高温の気体



窒息

◀ススの発生



煙から身を守ろう

- 目や顔から身を守るため、濡れたタオルなどで目や鼻(口や鼻)を覆いましょう。
- 呼吸は浅くしましょう。
- 逃げ出してから物を取りに帰るのは危険ですからやめましょう。
- 煙は上層に溜まります。姿勢を低くして障害物に気を付け、室内では壁つたいに、廊下では中央を歩きましょう。



煙避難体験

もしも、ビルの中で火災が起こったらあなたは、煙の中をうまく避難できますか？
係の人の注意をよく守って体験してくださいね！



凡例

- 姿勢センサー
- エレベータースイッチ



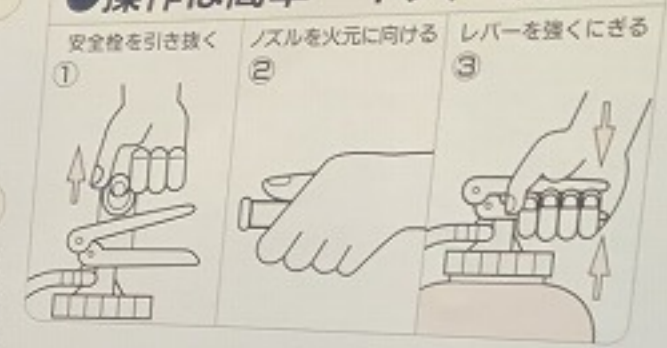
● 火事だ!! 消火だ!!

火災の原因で最も多いのが取扱いの不注意による失火。家庭においては台所からの出火の50%以上は天ぷら油の引火が原因です。天ぷら油は炎が直接油に届かなくても

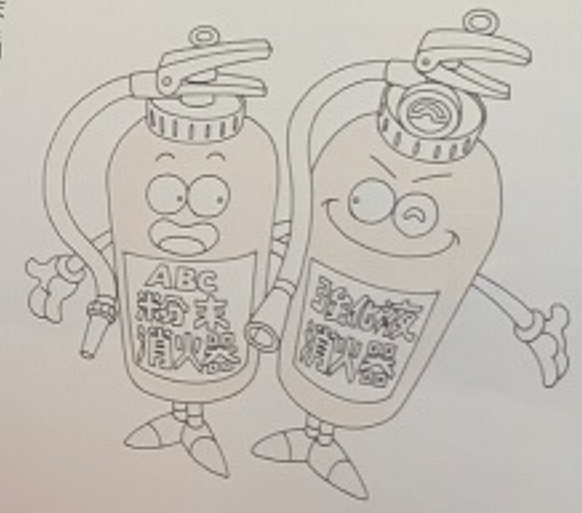
380℃位で自然発火します。万一、発火した場合は消火器を用いて速やかに消火にあたりましょう。水などをかけると炎が広がり、かえって危険です。

● 操作は簡単 イチ、ニ、サン。

- ① 黄色の安全栓を上引き抜きます。
- ② ホースをはずし、火に向けます。
- ③ レバーを強く握ります。



一般家庭用として使われているものに「ABC粉末消火器」と「強化液消火器」があります。火災が発生したらまず火の勢いを押さえるために、速効性の高い粉末消火器を炎に向けて放射し、さらに冷却効果や浸透性に優れた強化液消火器を使って消火し、再燃を防ぎましょう。



消火器は、長年の間に劣化します。使用期限（製造年）を確認して5年を目安に必ず点検して下さい。また、容器の耐用年限は、概ね8年ですので経過したものは取り替えして下さい。



普通火災(A火災)		●木 燃
油火災(B火災)		●石油類 どが燃
電気火災(C火災)		●電気設備な

消火器には、適応火災



●地震はどうして起きる？

日本は火山活動が活発な環太平洋地震帯に属し、全世界で発生した地震の約1割が日本周辺で発生していることから、世界屈指の地震国といわれています。地震が起こるしくみには地盤の歪みにより発生するとされるプレートテクトニクス説と、地盤のすれにより発生するとされる活断層説があります。

地球の表面は、プレートと呼ばれるいくつかの固い岩盤で覆われています。プレートとプレートの間にはすき間があり、海洋プレートが地球内部の熱いマントル対流によって、大陸プレートの下に滑り込むことで歪みが生じ、それが限界に達したときに大陸がはねかえり、地震が発生します。



活断層の種類

“活断層”は、新しい地質時代に動いたことのある断層のことです。断層には縦ずれ断層と横ずれ断層があり、さらに正断層・逆断層、右ずれ断層・左ずれ断層に分類されます。

縦ずれ断層	横ずれ断層
<p>正断層(水平引張り)</p>	<p>逆断層(水平圧縮)</p>

●震度階級と現象(気象庁)

震度階級	人間	屋内の状況	屋外の状況
0	人は何とも感じない。		
0.5	室内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。		
1	室内にいる人の多くが、揺れを感じる。歩いている人の一部が目覚めます。	壁などがのたつき下り始める。わずかに揺れる。	
2	室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の多くが目覚めます。	壁にある食器棚が、揺る立ることがある。	
3	室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の多くが目覚めます。	つり下げ物は大きく揺れ、食器棚は揺れる。物も落ちることがある。	電線が揺れ始める。
4	室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の多くが目覚めます。	つり下げ物は揺れ始める。食器棚、壁にある食器棚が、揺る立ることがある。つり下げ物は大きく揺れ、食器棚は揺れる。物も落ちることがある。	電線が大きく揺れる。電線が揺れ始める。電線が揺れ始める。電線が揺れ始める。
5弱	室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の多くが目覚めます。	室内のものが多く揺れ始める。食器棚、壁にある食器棚が、揺る立ることがある。つり下げ物は揺れ始める。食器棚、壁にある食器棚が、揺る立ることがある。	電線が大きく揺れる。電線が揺れ始める。電線が揺れ始める。電線が揺れ始める。
5強	室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の多くが目覚めます。	室内のものが多く揺れ始める。食器棚、壁にある食器棚が、揺る立ることがある。つり下げ物は揺れ始める。食器棚、壁にある食器棚が、揺る立ることがある。	電線が大きく揺れる。電線が揺れ始める。電線が揺れ始める。電線が揺れ始める。
6弱	室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の多くが目覚めます。	室内のものが多く揺れ始める。食器棚、壁にある食器棚が、揺る立ることがある。つり下げ物は揺れ始める。食器棚、壁にある食器棚が、揺る立ることがある。	電線が大きく揺れる。電線が揺れ始める。電線が揺れ始める。電線が揺れ始める。
6強	室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の多くが目覚めます。	室内のものが多く揺れ始める。食器棚、壁にある食器棚が、揺る立ることがある。つり下げ物は揺れ始める。食器棚、壁にある食器棚が、揺る立ることがある。	電線が大きく揺れる。電線が揺れ始める。電線が揺れ始める。電線が揺れ始める。
7	室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の多くが目覚めます。	室内のものが多く揺れ始める。食器棚、壁にある食器棚が、揺る立ることがある。つり下げ物は揺れ始める。食器棚、壁にある食器棚が、揺る立ることがある。	電線が大きく揺れる。電線が揺れ始める。電線が揺れ始める。電線が揺れ始める。

●地震に備えよう

地震は発生そのものを止めることはできませんが、被害を小さく抑ええることはできます。日頃からいざというときの行動を心得ておきましょう。

●屋内で地震に遭遇したら...

- テーブルの下などに隠れ、落下物から身を守る。
- あわてて外に飛び出すと危険。
- 火の始末はすみやかに。
- 戸や窓を開け避難口を確保する。
- 底の固い靴を履き、ガラス片などに注意する。
- ラジオなどで正しい情報を聞く。



●屋外で地震に遭遇したら...

- 狭い路地や塀のそば、扉ぶちを避ける。
- 山地や傾斜地では、山崩れ、崖崩れ、地滑りに注意する。
- 海では津波に注意し、高台へ避難する。



津波が到達する時間をもとに
具体的な避難を考えよう

このマップは、地震発生後、津波が30分以内の到達する時間を
示しています。
また津波の高さの目安も示されています。避難する際には、
津波の高さよりも高い位置に避難してください。津波が到達する前に
避難が完了するよう、余裕を持って避難してください。

凡例

津波到達目安ライン
内陸部の高さ5mの地点を結んだライン

浸水想定ライン

津波到達時間

津波到達時間 (避難の開始には余裕をみてください)

浸水深

浸水深	到達時間
4m以上	40分以内
3-4m	35分以内
2-3m	30分以内
1-2m	25分以内
10-15cm	15分以内
5-10cm	10分以内

このマップは
「津波到達目安ライン」の
浸水深と到達時間を
示しています。

浸水深
も示されています

どれくらい深く浸水するか
みてみましょう

津波が到達する時間や、津波の高さを
目安に、避難の準備を行います。この
マップでは、津波が到達する時間や、
津波の高さを目安に、避難の準備を
行います。このマップでは、津波が
到達する時間や、津波の高さを
目安に、避難の準備を行います。

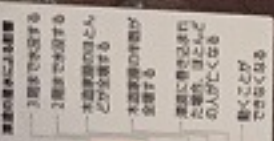
凡例

津波到達目安ライン
内陸部の高さ5mの地点を結んだライン

浸水想定ライン

津波到達時間

津波到達時間 (避難の開始には余裕をみてください)



マップ上で距離を測る
目安は
1000m

マップ上でおよその
時間を測る

歩行	自転車	自動車
20分	30分	40分



マップ上で距離を測る
目安は
1000m

マップ上でおよその
時間を測る

歩行	自転車	自動車
20分	30分	40分

